

# 柏木学園ニュース

URL <http://www.kashiwagi.ac.jp/>

平成 23 年

5 月号

No.80

奇数月発行



入学式・新入生誓いの言葉 柏木学園高等学校



研修センター 完成 柏木実業専門学校



1学年 オリエンテーション 大和商業高等専修学校



新しい1年が始まりました。 都筑ヶ丘幼稚園

## 磨 く

柏木学園高等学校 校長 保田 完次

4月の始業式と入学式で、生徒諸君に学校生活を送る上での行動指針・目標として『磨く』をキーワードにしてほしいと話した。本校の生徒は、ほとんどがまだ磨かれていないか、磨きが不十分だと言える。したがって、磨くことによって光輝く余地が十分残っている。原石が玉に変わらうる要素を十分持っている。だから、『磨く』ことを訴えたかったのである。

では、具体的には「何」を磨いたらいいのだろうか。大きく二つあって、一つ目は「学校を磨く」である。これにも「良き伝統づくり」と、「良好な学習環境づくり」の二つがある。「良き伝統づくり」には、今年15周年を迎えるし、年々学校の雰囲気も質も良くなっている、また評価も高くなってきている、だから、ここから生徒会を中心に、自分たちで誇れる伝統、校風を創りあげてほしいという思いが込められている。「清新な校風～さわやかな挨拶とともに～」などというフレーズが私の脳裏をよぎる。「良好な学習環境づくり」は、学校をきれいにしましょう、ということである。きれいな学校・教室で勉学に励んでほしいのである。

大きい二つ目は「自己を磨く」である。これにも具体的には「知性を磨く」「品性を磨く」「感性を磨く」の三つあ

る。「知性を磨く」のは、学力を向上させたり、教養を身につけたりするためであり、「品性を磨く」のは、品格や品位といった上品でたずまいのいい人になるためであり、「感性を磨く」のは、いたわりの心や思いやりの心、また想像力を身につけ、いじめなどをしないためである。彼らが柏木学園高校にあるかぎり、行動の目標として「学校」と「自己」を磨きつづけてほしいと願う。

そして、『磨く』という行動、活動の拠り所として『汝、何のために、そこに在りや』の精神を常に心に持ってほしいということも、併せてお願いした。『汝、何のために、そこに在りや』(あなたは、なんのために、いま、そこにいるのですか)という意味である。「自分は、今、何をするためにここにいるのだろうか」という問いかけは、全ての場面で当てはまる、すべての行動の基準となるものと考え。その時、その場所は、何をすることが一番ふさわしいのか、ということ自らに問うこと。そして、その問いの結果として、最もふさわしい行動がとれるようになること。それが私の願いである。

「努力する者は希望を語り、怠ける者は不満を語る」というが、本校のすべての生徒が、大いに希望を語り合える生活を送ってほしいと願ってやまない。